

三重県鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き

1 概況

1 生産の動き

平成 26 年の県内鋳工業生産指数の年平均は 124.5 (平成 22 年=100) で (年指数については、原指数によります。以下同じ。) 対前年比 8.9%増となり、3 年連続の上昇となりました。四半期ごとの推移についてみると (四半期別指数については、季節調整済指数によります。以下同じ。) 1 期 124.2 (対前期比 9.2%増)、2 期 125.7 (同 1.2%増)、3 期 124.4 (同▲1.0%減)、4 期 124.5 (同 0.1%増) となりました (表 2、図 1)。

これを業種別に対前年比でみると、上昇した業種は大きい順に、情報通信機械工業 206.0%、電子部品・デバイス工業 27.8%、生産用機械工業 22.0%、電気機械工業 9.7%、はん用機械工業 9.3%、化学工業 8.5%、石油・石炭製品工業 4.4%、プラスチック製品工業 4.2%、窯業・土石製品工業 2.2%、パルプ・紙・紙加工品工業 1.2%、業務用機械工業 0.6%、家具工業 0.2% となりました。一方、低下した業種は大きい順に、金属製品工業 ▲26.6%、木材・木製品工業 ▲8.6%、鉄鋼業 ▲7.2%、輸送機械工業 ▲5.8%、鋳業 ▲3.4%、ゴム製品工業 ▲1.6%、非鉄金属工業 ▲1.3%、その他製品工業 ▲1.2%、食料品工業 ▲0.8%、繊維工業 ▲0.4% となりました (表 4)。

また、財別に対前年比でみると、上昇した財は大きい順に、鋳工業用生産財 18.4%、非耐久消費財 5.3%、資本財 0.3%、その他用生産財 0.2% となりました。一方、低下した財は大きい順に、建設財 ▲16.0%、耐久消費財 ▲6.3% となりました (表 5)。

2 生産者製品在庫の動き

平成 26 年の県内鋳工業生産者製品在庫指数 (以下「在庫指数」とします。) の年平均は、121.5 (平成 22 年=100) で、対前年比 7.5%増となり、2 年ぶりの上昇となりました。四半期ごとの推移についてみると、1 期 98.8 (対前期比 1.9%増)、2 期 107.3 (同 8.6%増)、3 期 132.0 (同 23.0%増)、4 期 144.5 (同 9.5%増) となりました (表 3、図 1)。

これを業種別に対前年比でみると、上昇した業種は大きい順に、その他製品工業 99.1%、輸送機械工業 94.0%、家具工業 27.5%、化学工業 12.5%、非鉄金属工業 7.0%、ゴム製品工業 5.5%、食料品工業 0.7% となりました。一方、低下した業種は大きい順に、パルプ・紙・紙加工品工業 ▲19.2%、金属製品工業 ▲19.2%、石油・石炭製品工業 ▲17.9%、鋳業 ▲14.4%、はん用・生産用・業務用機械工業 ▲13.0%、鉄鋼業 ▲12.1%、木材・木製品工業 ▲10.7%、窯業・土石製品工業 ▲8.5%、プラスチック製品工業 ▲6.3%、電気機械工業 (旧分類) ▲4.1%、繊維工業 ▲3.4% となりました (表 6)。

また、財別に対前年比でみると、上昇した財は大きい順に、耐久消費財 62.2%、鋳工業用生産財 8.0% となりました。一方、低下した財は大きい順に、資本財 ▲45.2%、建設財 ▲18.1%、その他用生産財 ▲14.6%、非耐久消費財 ▲9.9% となりました (表 7)。